

Bluetooth 機能搭載ラジオ LED 目覚まし時計

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
正しくご使用いただく為に必ずご取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。

も く じ

安全上のご注意	P.76
ご使用になる前に	P.77
各部名称とはたらき	P.78
5-in-1 操作ノブ機能	P.79
使用前の準備	P.80
現在時刻を設定	P.81
アラームの設定	P.82
時計の便利な使用方法	P.82
アラームタイマーの入/切と	
アラーム音の選択をする	P.82
スヌーズを使う	P.82
スリープタイマーを使う	P.83
ディスプレイの明るさの調整	P.84
USB端子から外部機器への給電	P.84
FMラジオの設定・操作方法	P.85
Bluetooth接続設定	P.86
Bluetooth機器の音楽を聴く	P.87
イヤホンジャック	P.88
お手入れのしかた	P.88
おかしいな?とおもったら	P.89
主な仕様	P.89
製品保証について	P.90

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	Ⓞは、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、Ⓞの中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグ (ACアダプター) をコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ・自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。 火災・感電の原因になります。	雷が降り始めたら、ACアダプターに触れない。 感電の危険があります。	 指示	電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	日本国内以外で使用しない。 本機は日本国内専用です。	本機に対してスプレー式のエアダスターを使用しない。 本機の内部にガスがたまった場合、引火して爆発する原因になります。		取りはずした電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	温度の高いところ、水蒸気が多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。 火災・感電故障の原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	電源コードが傷んでいるとき、本体のDCプラグの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。		お手入れのときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	ACアダプターを、乳幼児の手のとどくところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。	異常時 (こげ臭い・発煙など) はACアダプターを抜き、使用中止する。 火災・感電の原因になります。 ACアダプターをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人による修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店または「ドウシヤお客様相談室 (裏表紙参照)」にご相談ください。
	子供だけで使用させない、また幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		 ぬれ手禁止
本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	ACアダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したままACアダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本機の上に水の入った容器や桶木鉢などを置かないでください。 ショート・感電の原因になります。	
強い衝撃を与えたり、本体を落下させたりしない。 衝撃を与えたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。				

⚠注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ほごりの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	 指示	廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	熱のごもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。		上にものをせたりしない。 内部に入ったとき、感電や火災・故障の原因になります。		音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。
	不安定な場所・傾斜のある場所では使わない。 転倒や落下で、けが・故障の原因になることがあります。	電池の極性に注意する。 電池をセットするとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	接続に注意する。 本機の入力端子へ接続した機器の過大信号によっては、本機を傷めたりすることがあります。正しい接続をしてください。		
	指定以外の電池を使用しない。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	 指示	持ち運びするときはACアダプターや外部機器を取りはずして、本体の下部を持って移動する。 けが・故障や外部機器の破損の原因となります。		
電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。	長時間使用しないときはバックアップの電池を抜く。 長時間入れたままにしておく、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。				

ご使用になる前に

ボタン電池について

ボタン電池を扱うときには

- ・指定以外のボタン電池は使用しない。
- ・極性表示を間違えないで挿入する。
- ・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない
- ・液漏れがおきたら使用しない。

ボタン電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにしてください。万が一、液が体が付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。

- ・長時間使用しないときは、ボタン電池を外しておく。
- ・使用後は、必ず各自治体の指示に従って処分する。

FM補完放送について

FM補完放送(ワイドFM)

- ・AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76.1~89.9MHz新たに設定された90.0~94.9MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。

本機はFM補完放送に対応しています。

- ※ FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。
詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

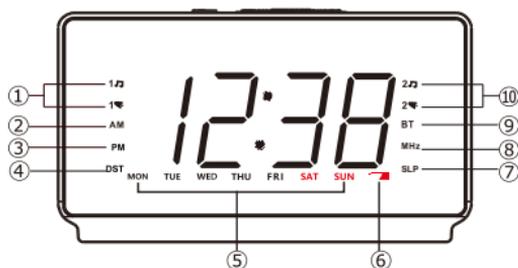
免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

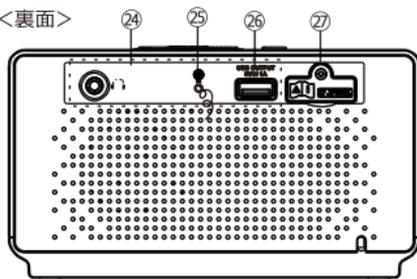
製品の故障・誤動作または不都合による外部機器等への記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称とはたらき

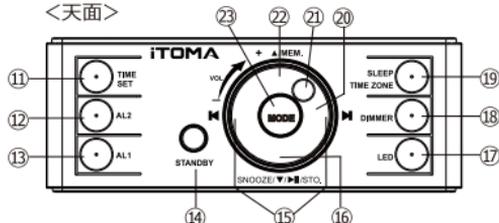
<正面>



<裏面>



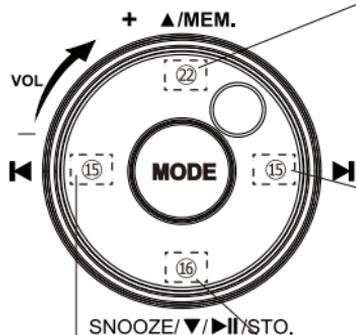
<天面>



名称	機能
正面表示部	
① アラーム1入/切表示 (ラジオ ♪/プザー ◀)	アラーム1の設定状況を表示します
② AM 午前表示	午前の表示です
③ PM 午後表示	午後の表示です
④ 夏時間表示	スリープタイマー入/切を表示します。
⑤ 曜日表示	曜日の表示です
⑥ 電池残量表示	内蔵電池の残量を表示します
⑦ SLEEP スリープタイマー表示	夏時間設定の状態を表示します
⑧ ラジオ受信周波数単位表示	ラジオ受信周波数の単位です。
⑨ BTBluetooth接続表示	Bluetooth接続状態を表示します
⑩ アラーム2入/切表示 (ラジオ ♪/プザー ◀)	アラーム2の設定状況を表示します
天面操作部	
⑪ TIME/SET時刻設定	時計設定時、時間、分、月、日、年を設定します
⑫ AL2 アラーム2 設定	アラーム2の設定をします。
⑬ AL1 アラーム1 設定	アラーム1の設定をします。
⑭ STANDBY 電源入/切	ラジオとBluetoothの電源入/切をします。
⑮ 戻り/次に移動	各モードの設定時/選局/曲の移動設定をします。
⑯ SNOOZE/▼/▶/STP. スヌーズ/ダウン/一時停止/停止	スヌーズ機能開始、時計設定/ラジオ放送局プリセット設定、Bluetooth接続時、音楽の再生/一時停止をします。
⑰ LED ナイトランプ入/切	LED ナイトランプの入/切をします。
⑱ DIMMER LED 輝度調整	LEDの輝度を設定します。
⑲ SLEEP/TIME ZONE スリープタイマー/標準時間帯設定	スリープタイマーと標準時間帯を設定します。
⑳ 機能操作キー	各モード時のそれぞれの機能を操作します。(詳細は5ページ)
㉑ VOL +/- 音量調節	音量を調整します
㉒ ▲/MEM.RECALL	時計・アラーム設定とラジオのプリセット局を選択します。
㉓ MODE モード切替	ラジオとBluetoothのモードの切り替をします。
裏面部	
㉔ イヤホンジャック	イヤフォンを接続します。
㉕ FM アンテナ	付属のACアダプターのDCプラグを接続します FMラジオ受信用のアンテナです。
㉖ USB充電端子	外部機器への給電ができます (DC5V/1.0A)
㉗ バックアップ電池ホルダー	バックアップ用ボタン電池が収納されています

5-in-1操作ノブの機能

- 本機の天面には多機能を一つのつまみで操作可能のダイヤル操作ノブを装備しています。
- それぞれのモードで機能は以下となります。



- 時計・アラーム設定時：
 - ①「時間」、「月」、「年」を繰り上げ
 - ②アラーム設定時「時間」を繰り上げ
- ラジオモード時：プリセット済みの放送局を選択

- 時計・アラーム設定時：
 - ①「分」、「日」、「年」を繰り上げ
 - ②「12 時間表示と 24 時間表示」の切り替え
 - ③アラーム設定時「分」を繰り上げ
- ラジオモード時：
 - ①放送局の選択
 - ②プリセット済み放送局の選択
 - ③プリセット時のプリセット番号の繰り上げ
- ブルートゥースモード時：次の曲に移動

- 時計設定時：
 - ①「時間」、「月」、「年」を繰り下げ
 - ②アラーム設定時「時間」を繰り下げ
 - ③SNOOZE 機能の「入」
- ラジオモード時：
 - ①長押しで、プリセット番号の表示
 - ②プリセット設定
- ブルートゥースモード時：再生/一時停止

- 時計・アラーム設定時：
 - ①「分」、「日」、「年」を繰り下げ
 - ②「12 時間表示と 24 時間表示」の切り替え
 - ③アラーム設定時「分」を繰り下げ
- ラジオモード時：
 - ①放送局の選択
 - ②プリセット済み放送局の選択、
 - ③プリセット時のプリセット番号の繰り下げ
- ブルートゥースモード時：前の曲に移動

使用前の準備

■ 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

※本体..... 1 個 ※ACアダプター..... 1 個 ※取り扱い説明書.....1冊
※バックアップ電池 (CR2032)動作確認用..... 1 個 (本体に装着済)

バックアップ電池について

本機には、時計用のバックアップ電池が装着済みです。

※ 付属の電池は動作確認用です。新品の電池と比べて短時間で寿命になります。

バックアップ電池の交換

バックアップ電池が消耗すると AC アダプターをコンセントから抜いた場合に現在時刻がリセットされます。

バックアップ電池の残量が少なくなると、時刻表示の右下に赤色電池マークが点灯します。

その場合は新しい電池に交換をしてください。

【交換用電池：CR2032】

電池交換のしかた

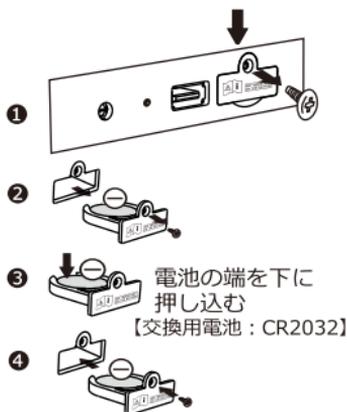
- 1 本体裏面のバックアップ電池ホルダーの固定用ネジをお手持ちのドライバーではずす
- 2 バックアップ電池ホルダーを引き抜く
- 3 電池面の右側が⊖のまま電池の端を押し込んで電池をはずし、逆の方法で電池をホルダーにはめ込む
- 4 バックアップ電池ホルダーを本機に差し込み、固定用ネジを取り付ける



電池の誤飲防止として、電池ホルダーの固定用ネジは必ず取り付けてください。



電池マークが表示されると電池を交換します。



現在時刻の設定

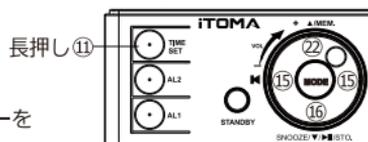
以下の手順で時計を合わせてください。

- 時刻を設定するとアラームタイマー機能が使用可能となります。(→ 8 ページ参照)

ACアダプターを接続後、表示が点滅をし始め、最終的に「前回設定した時刻」で点灯表示され、その後放置しておくとも自動的に時刻を表示します。その状態から、設定を開始します。

- 点灯に切替わると設定できませんので、再度「**⑩TIME・SET時刻設定**」キーを長押しします。

- 「**⑩TIME・SET時刻設定**」を長押しすると表示全体が点滅します。
この点滅状態の時に、
「**時間**」設定…「**⑩SNOOZE** ダウンキー」と「**⑫▲/MEM** アップ・メモリーリコール」キーを押して「**時間**」を設定します。
「**分**」の設定…「**⑮**戻り・次」キーを押して「**分**」を設定します。
↓設定後、再度「**⑩TIME・SET**」キーを押す



まず最初に
表示全体が点滅



- 「**月**」の設定
この点滅状態の時に、「**⑩SNOOZE** ダウン」キーと「**⑫▲/MEM** アップ・メモリーリコール」キーを押して「**月**」を設定します。
↓設定後、再度「**⑩TIME・SET**」キーを押す
- 「**日**」の設定
この点滅状態の時に、「**⑮**戻り・次」キーを押して「**分**」を設定します。
↓設定後、再度「**⑩TIME・SET**」キーを押す
- 「**年**」の設定
この点滅状態の時に、「**⑭**操作キー」上の「**⑮**、**⑯**、**⑰**」のいずれかを押しして「**年**」を設定します。
↓設定後、再度「**⑩TIME・SET**」キーを押す
- 「**12 時間表示**」か「**24 時間表示**」を「**⑭**操作」キー上の「**⑮**、**⑯**、**⑰**」のいずれかを押しして設定します。

※ ここまで設定した後に、更に「夏時間設定」設定モードが表示される場合は、以下の方法で設定します。

夏時間設定について

日本では、設定必要ありませんので、この機能を「OFF/切」にしておきます。

- 「**⑫▲/MEMORY RECALL** アップメモリー選択」キーを8秒ほど長押ししますと、表示は右図の様になり、右下の「**DST**」も点滅します。
- 同じく「**⑫▲/MEMORY RECALL** アップメモリー選択」キーを押して右図の文字が表示される様選択します。
- 設定が完了しますと、点灯に変わり、「**DST**」表示も消えます。



そのまま放置して設定完了

現在時刻とカレンダーをチェックする

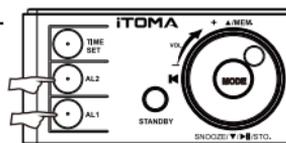
「**⑩TIME・SET**」キーを押すごとに、「**日付**」→「**年**」→「**時刻**」表示に戻ります。

時計の便利な使用方法

アラームタイマーの入/切とアラーム音の選択をする

「アラームの停止」、あるいは「アラーム音の選択」は、同じキーを使用します。アラーム設定に使用したAL1/AL2キーを押す毎に、以下のモードになります。

「アラーム時間表示」→「ラジオ」(♪マークが表示)→
「ブザー音」(🔊マークが表示)→アラーム切
(ブザーとラジオのアイコンが消えます)



※仮に、その場に居合わせず、アラームを解除できない場合は、**1時間後に自動でアラームが停止**します。

聞き逃しや、寝過ぎを防ぐために。。。

「⑩SNOOZE スヌーズ」キーを押して、アラームを停止します。

※SNOOZEは「休眠」の意味合いから、再度復帰します。

一度押すと一旦、アラームは停止しますが、**9分後に復帰してアラーム音が鳴ります。**

※この「SNOOZE スヌーズ」モードの場合、「🔊ブザーマーク」あるいは「♪ラジオマーク」が点滅します。



完全停止したい場合は。。。

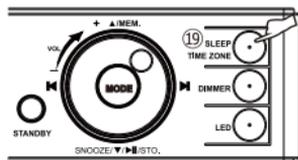
- ① 設定時に使用したAL1/AL2キーを押すか、「⑭STANDBY 電源」キーを押します。
※以後も同じアラーム時間を利用するなら、そのままとします。
- ② 以後このアラーム時間を再利用しないときは、設定時に使用したアラームキーを押し、音楽マーク♪とアラームマーク🔊が消えるまで、アラームキーを繰り返し押します。

スリープタイマーを使う

開始から電源を切る(スタンバイ状態)までの時間を**10分間隔で最大90分まで設定**できます。

就寝前に設定しておけば、音楽を聞きながらそのまま睡眠してしまっても心配りません。

- ① 「⑭STANDBY 電源入/切」キーを押し、スタンバイモードから、FMラジオ、またはBluetoothの再生可能モードにします。
- ② 「⑫MODE モード切替」キーでFMラジオか、Bluetoothのいずれかのモードを選択します。
- ③ 「⑪VOL +/- 音量調節」ダイヤルで好みの音量に設定します。
- ④ 「⑨SLEEPスリープ」キーを押す毎に、10分単位で最大90分迄を選択することができます。
この時、表示左下の「SLP」が点滅します
- ⑤ 設定した時間後に電源が切れます。又強制停止するには、「⑨SLEEPスリープキー」で「OFF」を選択するか、「⑭STANDBY 電源入/切」キーを直接押します。



30 再生時間表示



表示左下のこのアイコンが点滅

時計の便利な使用方法

ディスプレイの明るさの調整

ディスプレイ表示をお好みの明るさに変えることができます。

■自動調整機能

周囲の明るさに合わせて自動的に明るさを変えます。

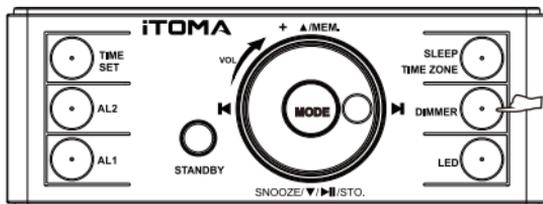
明るすぎて、睡眠の妨げにならないような明るさに自動調整します。

■手動で変える

「**ⓐDIMMER** 輝度調整」を押す毎に、4段階の明るさに変わります。

明るさの表示は、

「L3」最も明るい→「L2」中間の明るさ→「L1」最も暗い→「AU」自動→「L3」に戻る。



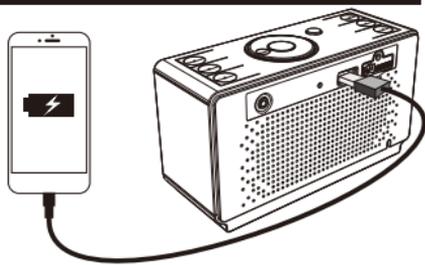
USB端子から外部機器への給電

本機の USB 端子でスマートフォンや携帯電話の充電をすることができます。

充電をする場合は、充電される機器の電圧／電流に適しているかご確認の上、ご使用ください。

(USB出力の定格は、5V/1.0Aです。)

※ 本機の USB 端子はメディアプレーヤー機能はありません。



誤使用による USB 端子に関する免責事項

1. 本製品の使用・使用できなかったこと等から生じる付随的な損害、弊社が関与しない機器との組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関しては弊社は一切の責任を負いません。
2. 天災・自然災害、第三者による事故、お客様の故意または誤使用、異常な条件下での使用、本書に記載している内容を守らない使用により生じた損害に関しては弊社は一切責任を負いません。

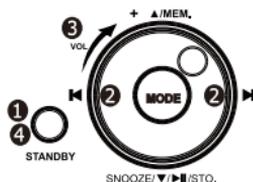
FMラジオの設定・操作方法

※ラジオは他家電・電子製品からの雑音の影響をうけやすいので、できる限り、それらの機器から遠ざけて下さい。

※本機はFM ラジオ76 ~ 108MHz の受信ができ、FM 補完放送（ワイドFM）に対応しています。受信状態が悪いときは、本体裏面のFM アンテナの向きなどを調節してください。

FMラジオを聴く

- 1 「**ⓐ**STANDBY 電源」キーを押します。
※仮にブルートゥースモードになっていたら、「**ⓑ**MODE モード切替」キーを押してラジオに切り替えます。（表示右側に「MHz」が表示されます。）
- 2 「**Ⓐ**ラジオ選局/戻り/次」キーを押して希望の放送局を選局します。
※2秒ほど、押し続ける事で選局がスピードアップします。
- 3 希望の放送局を選局後は好みの音量に調整します。
- 4 ラジオを切るには、「**ⓐ**STANDBY 電源」キーを押します。

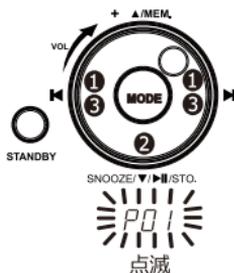


④の電源を切った際に受信していた放送局が、次回ラジオで目覚ましする時の放送局になります。（これはラジオで目覚ましを設定する時に、任意に放送局を設定する事も可能です。）

放送局のプリセット設定

※合計20局迄、記憶設定する事が可能です。

- 1 「**Ⓐ**ラジオ選局/戻り/次」キーを押して希望の曲を選局する。
- 2 選局後「**ⓓ**SNOOZE/▼/▶/STO.」キーを長押しすると、右の図のようにプリセット番号が点滅で表示されます。
- 3 点滅中に「**Ⓐ**ラジオ選局/戻り/次」キーを押して希望の記憶させるプリセット番号を選択します。
- 4 そのまま放置しておき、放送局の周波数表示→時計表示に変わると設定完了です。



設定後、再度プリセット番号を変更するには

- 1 「**ⓓ**SNOOZE/▼/▶/STO.」キーを長押しすると、プリセット番号が点滅します。
- 2 この点滅中に、「**Ⓐ**ラジオ選局/戻り/次」キーを押して希望のプリセット番号を選択する。
- 3 そのまま放置して時計表示に変わると設定完了です。

プリセット済み局を選ぶ

- 1 ラジオモードの時、「**Ⓐ**▲/MEM.アップ/メモリ呼び出し」キーを押します。
この時プリセット番号「P□□」が表示されます。
- 2 プリセット番号が表示されている間に、「**Ⓐ**ラジオ選局/戻り/次」キーを押して希望のプリセット番号（放送局）選択します。

自動プリセットするときの注意

■プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態できるようにしてください。
■プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにしてください。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。

Bluetooth接続設定

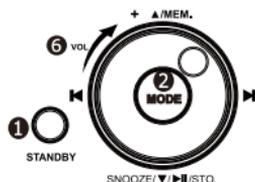
- ※Bluetooth(以後Bluetoothと表記)デバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
- ※ ペアリングするときは、両方の機器を 1m 以内に置いてペアリング設定をしてください。
- ※ 本機は一度に 1 台の Bluetooth 機器しか接続できません。

初めての接続(ペアリング設定)

※ペアリングしたい外部Bluetooth機器をBluetooth接続モードに設定しておきます。

①「④STANDBY 電源キー」を押して電源を「入」にします。

②「②MODE モード切替」キーを押して Bluetooth モードに切り替えます。
この時、ディスプレイが右図の様に表示し
右側の小さな「BT」アイコンが点滅します。
(これは本機が「サーチモードの状態」を示しています)。



③接続したい外部機器を Bluetooth モードにし、「サーチモード」にしますと、本機の製品名「CKS708」が外部機器のディスプレイ上に表示されます。

④この「CKS708」が、接続外部機器に表示された時、この名前をクリックしますと、本機との接続を開始します。

⑤本機との接続が完了すると、本機から、チャイム音がなり、また「BT」のアイコンが点滅から点灯に切り替わります。



⑥「⑥VOL +/- 音量調節」で好みの音に調節します。

※接続がうまくいかない時は、外部機器の Bluetooth モードを一旦「切」にし、再度「入」にして、①～⑤までの手順で設定してみてください。

2回目以降の接続

以前にペアリングした Bluetooth 機器は自動的に接続されます。
再接続されない時は、初めての接続の手順に従って再度接続してください。

※接続する Bluetooth 機器のよっては自動的に接続されない事がありますが、故障ではありません。

接続を解除するには

以下のいずれかの方法で解除できます。接続を解除すると、本機から解除音が鳴ります。

- 1) 本機のモードをラジオモードに切り替える。
- 2) 「④STANDBY 電源キー」を押して電源を「切」にします。

Bluetooth機器の音楽を聴く

接続後は Bluetooth 機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

❶ 「初めての接続 (ペアリング設定)」の手順で**ペアリング、接続を行っておきます。**

❷ **本機と Bluetooth 機器が確実に接続している事**を確認する。

Bluetooth 接続時はディスプレイ右側の「BT」アイコンが点灯表示されます。
未接続のときは、「BT」アイコンが点滅表示されます。

※Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせて確認ください。

❸ **本機に接続した Bluetooth 機器を操作して一旦、音楽を再生**してみます。
本体天面の操作部で Bluetooth 機器の一部がコントロールできます。
このページの下方に記載の「**本機の操作で再生をコントロール**」を参照ください。

※接続した**外部 Bluetooth 機器の出力音量レベルに注意!!**
小さいと、正しく再生されない場合があります。

別の Bluetooth 機器との接続

別の Bluetooth 機器を接続したいときは、現在接続されている機器を切断してください。
本機は一度に 1 台の機器しか接続できません。

- ❶ 接続していた外部機器の Bluetooth 機能をオフにします。
- ❷ 外部機器に表示されている、本機の製品名「CKS708」の接続を解除します。
- ❸ 別の外部機器と「初めての接続 (ペアリング設定)」接続を行なう。

本機の操作で再生をコントロール

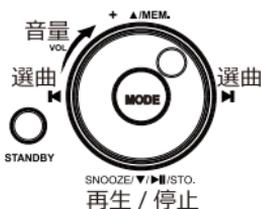
本機の天面にあるコントロールで、以下の操作が可能です。

「ⓂSNOOZE/▼/▶/STP. スヌーズ / ダウン / 一時停止 / 停止」キー
で「再生と一時停止」

「ⓂVOL +/- 音量調節」で音量調整

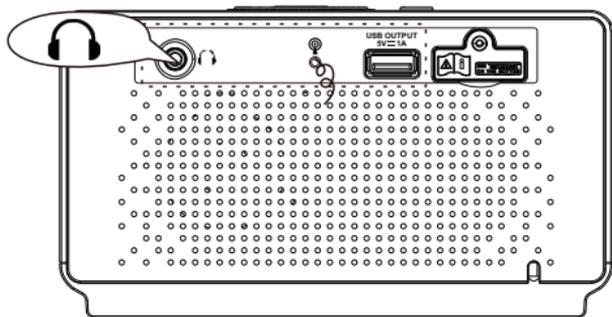
「Ⓜ戻り / 次に移動」で前の曲や次の曲に移動

このコントロールする機能は、AVRCP プロファイル対応機器との接続時に機能します。



AVRCP プロファイル対応機器でも、このコントロールに対応しない機器や、対応するコントロールであっても、コマンド送信する方法によって正常に機能しない機器があります。

イヤホンジャック



- 1 「STANDBY (スタンバイ) ボタンを押してデバイスを開く。
- 2 「MODE (モード) ボタンを押して、目的のオーディオソース (Bluetoothまたはラジオ) を選択して聴いてください。
- 3 転舵輪を時計回りまたは反時計回りに回転させることにより出力オームシェルを調整する。
- 4 イヤホンプラグを3.5ミリイヤホンジャックに接続すれば、イヤホンを通してスリーミングステレオ効果を楽しむことができる。

注意：目覚まし時計がセットされていてイヤホンがデバイスに接続されている場合はラジオブザーを起動する目覚まし時計はスピーカーに鳴りません、イヤホンに鳴り響くだけです。

注意：イヤホンを長時間高音量で使用すると補いきれない聴力損失につながる可能性があります。イヤホンの音量を適切なレベルに調整することを強くお勧めします。音量が長くなるほど聴力を損なうリスクが高くなります。

お手入れのしかた



お手入れの際は、必ず電源プラグ (AC アダプター) を取りはずす。
感電・火災・けがの原因になります。

お手入れ ※汚れたときは、柔らかい布で軽く乾拭きしてください。ディスプレイやボタン部分の汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取ったあとは乾拭きしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となります)

保存のしかた ※長期間使用されないときは、十分にお手入れをして、ボタン電池を取りはずして保存してください。



- ベンジン・シンナーでは拭かない。変色や変形の原因になります。
- 本体に水をかけたりしない感電・故障の原因になります。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従って使用する。変色・キズの原因になります。

おかしいな?と思ったら

警告 修理技術者以外の方は分解や修理をしない。

「故障かな?」と思ったらときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通部		
電源が入らない ディスプレイが表示 されない	• ACアダプターがはずれている	ACアダプターの接続を確認する
スピーカーから音が 出ない	「MODEモード切替」キーで 目的のモードに設定されていない • 音量が最小になっている	目的のモードに切り替える 音量を調節する
時計がリセットされる	• バックアップ電池が消耗している	新しい電池に交換する
正常な動作をしない		一度電源プラグを抜いて接続しなおす
音が小さい 音がひずむ	• 外部機器が正しく接続されてい ない • 接続している機器の音量が小 さい、または大きい	外部機器の取扱説明書を確認して、 正しく接続する 接続している機器の音量を調節する
ラジオ部		
雑音が入る	• テレビなどが近くにある • 電波状態が悪い	テレビなどから離す 窓際などで試してみる FMアンテナの長さや方向を変更してみる
Bluetooth部		
音が出ない	• Bluetooth機器との距離が長い • 無線LAN や電子レンジ、無線機 器などの影響を受けている • 正しくペアリングされていない • SCMS-Tの送信	近くで使用する 影響しそうな機器の使用をやめてみる もう一度ペアリングしてみる 本機はSCMS-Tに対応していません
映像機器とつなぐと 映像より音が遅れる	• Bluetoothの通信遅延	状態によってBluetoothでは若干遅れること があり、映像と音声を一一致せるにはAUX端 子に音声を接続する
ペアリングできない	• Bluetooth機器との距離が長い • Bluetooth機器側の問題 • 先に別の Bluetooth 機器が 接続されている	より近づけてペアリングしてみる 電源など十分に確保してから試してみる 外部機器の取扱説明書をご確認ください 別のBluetooth機器が接続されていないか 確認する

主な仕様

電源	ACアダプター AC100V 50/60Hz 出力 DC5V 1.2A
実効出力 (RMS・THD10%)	1W
LED	アイスブルー色、1.4"高さ
USB 端子出力	DC5V 1.0A (充電専用)
Bluetooth	Ver4.1 Class2 プロファイルA2DP/AVRCP コーデックSBC
スピーカー	40mm フルレンジ
チューナー	FM: 76 - 108MHz
外形寸法	(約) 158(幅) X59(奥行) X90(高さ) mm
質量 (ACアダプター込)	約 460g

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

製品保証について

下記商品は、弊社商品であることを証明いたします。
6ヶ月間の限定条件付き保証期間となります。期間内に故障が生じた場合には、
当社の判断と規定に基づき、製品交換あるいは無料で修理いたします。

<保証規定>

1. お買い上げ日から6ヶ月の期間中に取扱説明書に従った正常な使用状態で使用し故障した場合は
当社の判断で、製品交換あるいは修理致しますが、お買い上げ証明(レシートや領収書など)と
販売日が記載されているもののみ有効とさせていただきます。
3. 次の場合は上記期間内でも対象外となります。
 - ・使用方法の誤りによる故障及び損傷
 - ・改造や不当(当社以外の第3社による)修理による故障及び損傷
 - ・業務用または過酷な条件下で使用した場合の故障及び損傷
 - ・お買い上げ後の落下、輸送などによる故障及び損傷
 - ・火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害または異常電圧などの
外部要因による故障及び損傷
 - ・購入証明が本人ではなく、また書き換えられた場合
 - ・消耗品を交換する場合
 - ・腐食による損傷および故障
 - ・内蔵電池の液漏れによる、損傷や故障
 - ・一般家庭以外(例えば業務用、船舶や海上使用など)に使用された場合の
故障および損傷

本書は日本国内においてのみ有効です。本書は再発行いたしません。紛失、破損が
ないように大切に保管してください。保証期間経過後の修理は有料となります。

連絡先: iToma (Hongkong) Company Limited
info@itoma.com